

都市再生整備計画 事後評価シート
天龍峡地区

平成26年3月

長野県飯田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	飯田市		地区名	天龍峡			面積	260ha			
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	479.5百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		事業名 道路(市道川路44・191・239号線、市道龍江157・161・162・228号線)、公園(天龍峡、川路2号)、地域生活基盤施設(天龍峡第1・2・3公園、姑射橋広場、龍峡園展望台、情報板)、高質空間形成施設(市道川路41・196・197・198号線)									
			提案事業		地域創造支援事業(河原降口整備、天龍峡景観保全対策、天龍峡温泉交流館整備、天龍峡安全管理対策、ガイダンス施設整備、天龍峡桜誘客整備、地域産業活用賑わい創出)、事業活用調査(事業効果分析事業)、まちづくり活動推進事業(天龍峡再生マネージャー委託)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業		・地域生活基盤施設(今村公園、龍角峯展望台、天龍峡北駐車場) ・地域生活基盤施設(今田平・かわらんべ西駐車場) ・街なみ環境整備		・他事業により実施したため ・事業効果の観点から現状で機能対処できると判断できたため ・協定締結の合意形成はできたが、関連する文化財保護協議に不測の時間を要したため		影響なし 影響なし 影響あり					
	新たに追加した事業		基幹事業		・道路(市道川路40号線)		・地元の強い要望と事業効果の高い天竜峡駅前関連整備であるため		影響あり					
			提案事業											
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	指標1	天龍峡の観光客数	人/年	162,400	H19	165,000	H25		149,200	△	あり なし	●	観光客数の減少に歯止めをかけ一旦は増加させることができたものの、天竜川下り舟着陸事故の風評の影響が予想以上に大きく、目標を達成できていないが、入込客は回復している。	H26.7
	指標2	天龍峡の歩行者数	人/日	200	H20	300	H25		1,020	○	あり なし	●	歩きやすく分かりやすい遊歩道・公園整備により、名勝地天龍峡観光の楽しみ方が観光客に適切に伝わり、往來客が増加した。	
	指標3	観光案内所利用者数	人/年	6,856	H19	7,000	H25		14,237	○	あり なし	●	ガイダンス機能の整備や、おもてなしの向上の取り組みの成果により、利用者が増加した。	H26.7
	指標4										あり なし			
指標5										あり なし				
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み					
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4) 定性的な効果発現状況	天龍峡まち歩き&ワークショップや学習会、観光のまちづくりに向けた組織体制の構築や活動の実施により、天龍峡への愛着と誇り、まちづくりへの参画意識の高揚や既存団体や個人などの自主活動へ良い影響が出ている。													
5) 実施過程の評価	実施内容		モニタリング		実施状況				今後の対応方針等					
	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス		天龍峡まち歩き&ワークショップ等		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民主体によるまちづくりへ向け効果的な手法であるので、今後も継続していく。					
持続的なまちづくり体制の構築		観光のまちづくりに向けた取り組みを推進する組織の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 天龍峡の観光のまちづくりに関係する団体のネットワークが構築でき、事業への主体的な取り組みが進みつつある。体制の確立、自立化を進める。						

様式2-2 地区の概要

天龍峡地区(長野県飯田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
『天龍峡百年再生』 天龍峡と南信州の個性を探り、人と人、心と心をつなぐ地域再生 ○名勝天龍峡としての“自然の美”、そしてそれを守り、広く世に伝えてきた“人為の美”と“人心の美”、この3つの美が一層磨かれ、活かされたまちづくり。 ○将来、三遠南信自動車道の全線開通によって「南信州の玄関口」に位置付く天龍峡が、南信州地域を訪れる観光の拠点にふさわしいまちづくり。 ○地域住民が心を一つにし、この地に暮らすことに誇りをもって地域を再生する「暮らしていい町が訪ねていいまちづくり」。	天龍峡の観光客数	単位:人/年	162,400	H19	165,000	H25	149,200	H25見込み
	天龍峡の歩行者数	単位:人/日	200	H20	300	H25	1,020	H25
	観光案内所利用者数	単位:人/年	6,856	H19	7,000	H25	14,237	H25見込み
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> □東日本大震災や天竜川下り舟転覆事故(静岡県)による風評が観光入込客へ大きく影響しているため、数値目標に達しなかったが、回復傾向にある観光客数を一層増加させていく取り組みが必要になっている。 □三遠南信自動車道全線開通後に通過点とならないため、多様な目的を持つ来訪者に対応できる名勝天龍峡(文化財)の生かし方や、新たな天龍峡の楽しみ方の創出や適切な情報発信が必要になっている。 □三遠南信自動車道天龍峡大橋(仮称)展望台付き歩廊及び天龍峡インター休息施設の完成時を見通した、観光のまちづくりが必要になっている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> □現時点で天龍峡の魅力を楽しみに来られている観光客を受け入れるとともに、整備が進む天龍峡大橋(仮称)や休息施設の完成、三遠南信自動車道の全線開通を見通したまちづくりを推進する。 □貴重な文化財にふさわしく、文化財を生かしたまちづくりを一層推進する。 □子どもや高齢者に配慮した、天龍峡を目的地として、また中継地として訪れる観光客に対応できる観光地づくりを推進する。